地域をむすぶ
みらいしんきんのネットワーク

2026年10月31日現在

別府地区

② 本店営業部
別府市駅前本町1番31号
TEL 0977-25-7710
9:00～15:00

③ 南支店※
別府市駅前本町1番31号
TEL 0977-22-3311
9:00～15:00

⑤ 鉄輪支店
別府市御幸2組
TEL 0977-66-1251
9:00～12:00／13:00～15:00

⑥ 亀川支店
別府市亀川浜田町2番3号
TEL 0977-66-0161
9:00～12:00／13:00～15:00

⑦ 山の手支店
別府市青山町1番1号
TEL 0977-22-0231
9:00～12:00／13:00～15:00

⑪ 上人支店
別府市上人南16組
TEL 0977-66-2261
9:00～12:00／13:00～15:00

⑬ 荘園支店
別府市東荘園3丁目4番40号
TEL 0977-24-7131
9:00～12:00／13:00～15:00

⑭ 石垣支店
別府市石垣西7丁目1番1号
TEL 0977-25-0511
9:00～15:00

⑮ 鶴見支店
別府市大畑町2番26号
TEL 0977-22-1131
9:00～12:00／13:00～15:00

⑲ 扇山出張所
別府市鶴見3丁目8番43号
TEL 0977-22-1135
9:00～12:00／13:00～15:00

みらいハートプラザ別府
別府市駅前本町1番31号
TEL 0120-365-166
9:00～17:00

※南支店は店舗建替工事のため、本店営業部内にて営業中

大分地区

⑩ 大分支店
㉖ 府内中央支店
大分市府内町1丁目2番8号
TEL 097-534-0131
9:00～15:00

⑫ 南大分支店
大分市二又町1丁目4番22号
TEL 097-544-1181
9:00～15:00

⑳ 東大分支店
大分市新栄町1番3号
TEL 097-556-6311
9:00～12:00／13:00～15:00

㉗ 高城支店
大分市高城本町3番3号
TEL 097-558-1644
9:00～15:00

㉙ 大在支店
大分市政所1丁目1番11号
TEL 097-592-2171
9:00～15:00

㊸ 中央市場出張所
大分市豊海4丁目1番1号
TEL 097-533-3222
9:00～12:00／13:00～15:00

㊺ 滝尾支店
大分市大字津守383番地の6
TEL 097-568-6111
9:00～15:00

㊻ 鶴崎森町支店
大分市大字森町499番地の1
TEL 097-522-1181
9:00～12:00／13:00～15:00

㊷ 坂ノ市支店
大分市坂ノ市中央4丁目2番3号
TEL 097-592-3511
9:00～12:00／13:00～15:00

みらいハートプラザ大分
大分市荷揚町3番1号
TEL 0120-365-353
9:00～17:00



由布・日出地区

⑨ 湯布院支店
由布市湯布院町川上3048番地の4
TEL 0977-84-2164
9:00～15:00

㉒ 日出支店
速見郡日出町3189番地1
TEL 0977-72-1511
9:00～12:00／13:00～15:00

㊷ 向原支店
由布市挾間町挾間572番地1
TEL 097-583-1311
9:00～12:00／13:00～15:00

県北地区

㊿ 中津中央支店
中津市豊田町2丁目453番地の1
TEL 0979-23-1111
9:00～15:00

㊹ 大幡支店
中津市大字大悟法705番地の1
TEL 0979-32-4051
9:00～12:00／13:00～15:00

㊻ 鶴居支店
中津市大字万田字寺屋敷409番地の1
TEL 0979-22-1431
9:00～12:00／13:00～15:00

㊼ 宇佐中央支店
㊺ 高田支店
宇佐市大字上田字前畑1013番地の1
TEL 0978-32-2123
9:00～15:00

㊽ 如水支店
中津市大字下池永字新貝918番地の1
TEL 0979-25-1818
9:00～12:00／13:00～15:00

大分みらい信用金庫 公式LINE
友だち募集中！
お得な商品情報　お楽しみ企画　地域情報
便利な情報　キャンペーン情報
登録はこちらから

大分県の素敵な「ひと・もの・こと」を紹介してるっこ♪
大分みらい信用金庫 公式インスタグラム
「みらっこ旅」
@mirakko2010

MIRAI 大分みらい信用金庫
みらいしんきん 検索
https://www.oitamirai.co.jp/

REPORT 2026.09

ミニディスクロージャー

MIRAI 大分みらい信用金庫

肩までつかろう、わがまちに。
～おんせん県おおいた まちの個性を応援します～



みらいしんきん職員も別府八湯を満喫♨

2026年で30周年を迎えた「別府八湯　勝手に独立宣言」。地域リーダーの皆さまが「地元の魅力を再発見しよう」と呼びかけたことに呼応し、別府ではさまざまな取り組みが展開されています。まちづくりの先進地とされる大分県。みらいしんきんも全力で応援します。

TOP INTERVI EW

“総幸福量”の最大化を図り笑顔があふれる地域づくりを

大分みらい信用金庫　理事長　古田 哲一



長期事業計画の完遂を目指す

── 理事長就任後の半年で経営環境が激変しています。地域経済を支える経営者として、その決意をお聞かせください。

“金利のある世界”が戻り、お客さまも戸惑いを隠せない状況となる一方で、原材料高や人手不足といった厳しい課題に直面する場面も少なくありません。今こそ、お客さま一人ひとりに寄り添う伴走型支援や付加価値の提供を徹底し、“地域の皆さまから笑顔をいただける金融機関”になるよう、決意をあらたにしています。

基本的に信用金庫は「地域でお預かりした資金を、地域に還元する」という使命を担うことで、存在意義を発揮できます。株式会社であるメガバンク・地銀が対応できない小さな案件にも耳を傾け、身の丈に合った伴走支援ができるのは信用金庫であるという自負があります。見方を変えれば、地域経済のポテンシャルを高める重責を担っているともいえ、経営トップとして的確な舵取りが求められます。

── かねてから取り組んできた事業計画は順調に進んでいますか。

今年度は、10カ年長期事業計画の第2フェーズ「第2次『シンカへの挑戦』3カ年計画」の最終年度となります。「ソリューション戦略」「収益力・生産性向上戦略」「組織・人材戦略」「経営管理戦略」の4つの重点施策に「デジタル戦略」を掛け合わせ、経営課題に対しスピード感をもって取り組んできました。

KPIの各項目については、概ね達成する見込みです。

── デジタル戦略については具体的にどのような取り組みを行っていますか。

当金庫の強みは、渉外活動や営業店窓口での対面サービスです。そうした強みを生かし、お客さまとの会話により得られた情報を基に、ニーズに合ったご提案を必要なタイミングで行う活動に取り組んでいます。

その他、ペーパーレス化や生成AI導入などを進めていますが、DX推進の目的は、生産性と効率性を高めることで、お客さまに向き合い、寄り添う時間を確保することです。

これからも“Face to Face”とDXを融合し、地域社会との共存共栄を図っていきたいと考えています。

第2次「シンカへの挑戦」3カ年計画

戦略テーマ

深化への挑戦
～変革、待ったなし!～

重点施策

1 **ソリューション戦略 × デジタル戦略**
地域活性化支援とお客さま支援の強化

2 **収益力・生産性向上戦略 × デジタル戦略**
営業基盤の拡充と業務改革の実行

3 **組織・人材戦略 × デジタル戦略**
より働きがいのある職場の構築

4 **経営管理戦略 × デジタル戦略**
経営管理態勢と統合的なリスク管理態勢の強化

「地域」と「人」に寄り添う経営を

── ご自身のキャリアを振り返りながら、みらいしんきんへの思いを語ってもらえますか。

別府生まれ、別府育ちの私は、地域のために役立ちたいという思いが強く、大学時代は障がい者ボランティアのサークルで活動していました。

そのうえで当金庫で働き始めて驚いたのが、さまざまな形の地域貢献活動を実践していたことです。地域のお祭りに参加したり、環境活動に取り組んだり、地元経営者と共に地域の未来を考える姿などを目のあたりにして、「これが信用金庫なんだな」と思うようになりました。私にとって、働きがいの原点ともいえます。

── 営業店に加えて人事部門での経験も、今後の経営方針に反映されるのでは。

「人に焦点を当てた」経営を行っていく所存です。その課題のひとつが、これから当金庫の未来を担っていく世代と、どう向き合うかです。

私自身は80年代半ばに社会人デビューし、当時は“超新人類”といわれた世代ですが（笑）、失われた30年やコロナ禍を経験した世代とは、その意識に隔世の感があります。彼らと正面から向き合い、共感すべきことは共感し、そのうえで“やりがいスイッチ”がどこにあるのか、どうすればいいのかを考えることは、あらゆる経営者にとって喫緊のテーマだと考えます。

私自身は、「地域で一番働きがいのある職場を目指す」という目標を掲げています。地域のお客さまに寄り添い、その成果をお客さまに喜んでいただくことが自身の喜びの手応えとなり、この繰り返しが働きがい、やりがいに繋がり、ひいては総幸福量の最大化を図っていくものと信じています。

人事を尽くして天命を待つ

── 座右の銘は、何でしょう。

「人事を尽くして天命を待つ」です。すべての事柄を自分の力だけでコントロールしようとせず、自分ができる最善の努力を行い、あとは腹を据えて静かに天命に任せて事の成り行きを見守る、という考えに共感しました。

夢を持って大胆に、楽観的に構想しながらも、一方で全てのリスクを悲観的に想定して計画を立案し、多少のトラブルは想定内と捉え、完遂するという信念を持って、あらゆる課題に取り組むという意味合いが含まれ、渋沢栄一氏や松下幸之助氏も同様の解釈をしている故事成語です。

── 最近の愛読書は？

稲盛和夫氏の経営に関する書籍は、随分と読み込みました。

書籍に限らず、金融や経済に関するオンラインの学習コンテンツなども活用しています。幅広い分野の情報に触れることができ、日々の情報収集や学びに役立てています。

PROFILE 概要

（2026年9月末現在）

名　　称	大分みらい信用金庫
本店所在地	〒874-8639 大分県別府市駅前本町1番31号 ☎ 0977-22-1181 URL https://www.oitamirai.co.jp/ E-mail mirai@oitamirai.co.jp
創立年月日	大正11年4月12日
役職員数	383名
店 舗 数	29店舗
営業地区	別府市・大分市・日田市・臼杵市・津久見市・竹田市・杵築市・中津市・宇佐市・豊後高田市・豊後大野市・由布市・国東市・東国東郡・速見郡・玖珠郡（以上 大分県）・豊前市・築上郡（以上 福岡県）
出 資 金	15億19百万円
会 員 数	43,339人

まちの笑顔を未来につなぐ

みらいしんきんM'sCLUB 悲願の「一等賞」受賞!



今年の山車の武将は「伊達政宗」。裏面には金星を持った「みらっこ」が描かれました。

大分七夕まつり「府内戦紙」



法被をリニューアルし、全員が手に「金星」をつけて臨みました。

DATE 2026年8月7日(金) | PLACE 大分市・駅前中央通り

県下最大の夏祭り「府内戦紙」に役職員160名で編成された「みらいしんきんM'sCLUB」が出陣しました。今年は「『閃星破闇』～掴め金星! 夜を切り裂く粋の刃～」をテーマに掲げ、一致団結して臨んだ結果、見事悲願であった最高賞の「一等賞」を受賞する快挙を成し遂げました!

お揃いのNEW法被で地域の夏祭りに参加

べっぷ火の海まつり「納涼音頭大会」



DATE 2026年7月26日(日) | PLACE 別府市・スパビーチ

泉都・別府の夏の風物詩、べっぷ火の海まつり「納涼音頭大会」に参加しました。お囃子や三味線、太鼓の音に合わせ別府を代表する音頭「別府音頭・温泉おどり・ヤッチキ・別府ばやし」を踊り、花火大会前の会場を盛り上げました。

中津祇園「市民総踊り」



DATE 2026年7月25日(土) | PLACE 中津市・福澤通り「お祭り広場」

中津市で約600年の歴史を誇る、城下町・中津を代表する夏の伝統行事「中津祇園」の関連イベント「市民総踊り」に参加しました。さまざまな踊り手団体と一緒に「観光中津音頭・諭吉音頭・吉吾どん・なかつ鱧音頭」を踊りました。

地域のボランティア活動に参加

別府市海岸海浜清掃奉仕活動



DATE 2026年7月19日(日) | PLACE 別府市・スパビーチ等

別府市の美しい海岸線を守るため、海水浴シーズンを前に、海岸沿い約1.5キロにわたり行われた大規模な環境美化・ボランティア活動に約80名の職員が参加しました。

地域の皆さまへの感謝を込めて 支店周年記念イベントを開催



鉄輪支店開店75周年、大分支店開店60周年、鶴崎森町支店開店30周年の節目を迎え、地域のお客さまへの感謝を込めた記念イベントを開催しました。それぞれの支店で、ご来店プレゼントやご成約特典を用意し、日頃のご愛顧への感謝の気持ちをお伝えしました。多くのお客さまにご来店いただき、地域の皆さまとのつながりを改めて実感する機会となりました。

未来に向けて がんばる企業を応援します

理想のプロ人材とのマッチング支援

中小企業が抱える様々な課題の解決策を 地域創生企画部と営業店が連携してご提案しています

石垣支店 | お取引先

株式会社 丸三
代表取締役 三ヶ尻 安秀 さま
別府市汐見町3-27
TEL 0977-21-0251
https://www.marusan-japan.com

株式会社丸三は、石垣支店の岩見直樹主事の提案により、都市部で活躍する専門性の高い人材等をマッチングする『Skill Shift（スキルシフト）』の活用に取り組んでいます。このサービスは、当金庫が業務提携する株式会社みらいワークスが提供しています。

時代に応じた事業展開を実践してきた株式会社丸三は、OEM による土産品の製造販売業を営んでおり、国内外の工房・工場と連携して各地の問屋・小売店へ商材を提供しています。三代目となる三ヶ尻安秀代表取締役は、次のように話します。

「当社は『楽しみクリエイトカンパニー』を企業理念に掲げ、オリジナルのキャラクター商品などを通じて“小さくとも驚きに満ちた幸せ”を感じる商品を提供してきました。しかし、社内スタッフのみで多くのクリエイティブワークを手がけるには限界があり、洗練された高品質の商材を生み出せる人材が雇えないものかと考えていました」

この話を聞いた岩見主事は、帆足杏一支店長と検討した結果、『Skill Shift』が課題解決に最適と判断。「大分県副業・兼業人材活用促進事業費補助金」の活用も含めて提示したところ、実施に至りました。

「副業・兼業体制なので業務委託契約となり、企業側は社会保険や労働保険などの負担がなく、低コストで専門性の高い人材を迎えられる点に興味を持ちました。現在はパートナーを絞り込み、業務開始に向けて具体的な話を進めている段階です。いずれもみらいしんきん、みらいワークスが伴走体制でサポートしてくださるので助かります」

2027年に創業90年を迎える同社。この取り組みが、新たな事業発展に繋がることを期待します。



ジャンル別に多彩なアイテムを紹介する商品カタログ



楽しい展開が好評のキャラクターグッズ



左から岩見直樹主事、三ヶ尻安秀代表、帆足杏一支店長

実施事業レポート

第4回「DX活用セミナー&DX合同展示会」開催



DATE 2026年7月15日(水)、16日(木)

PLACE 別府市・大分みらい信用金庫 みらいホール

今回で第4回を迎えた「DX活用セミナー&DX合同展示会」は、みらいしんきん同友会創立50周年記念企画として2日間にわたり開催しました。

初日のセミナーではサイバーセキュリティ対策やビジネスの現場で活用が広がる生成AIの基礎知識について専門家による講演を行いました。2日目の展示会では生産性向上や業務効率化を目指す事業者61社73名にご来場いただき、最新のDXツールを体験していただきました。

参加事業者からは「経営課題解決のヒントを得られた」と、好評でした。

「インターンシップ(1Day仕事体験)」を実施



DATE 2026年8月から2027年2月まで コース別に毎月実施

PLACE 別府市・大分みらい信用金庫 みらいホール

当金庫では、学生の皆さまが職業選択の第一歩を踏み出す機会として、インターンシップ（1Day仕事体験）を実施しています。

みらいしんきんや信用金庫業界について学び、業務を体験できるほか、年齢の近い職員との座談会では、仕事のやりがいや職場の雰囲気、就活の悩みなどについて気軽に話すことができます。

当金庫のインターンシップを通して、自分の可能性を広げる機会にしていただけたらと思います。

業績について

（2026年9月末）

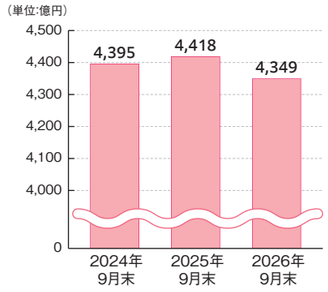
預金・積金、貸出金の状況

預金・積金残高は、4,349億4千4百万円となり、前年同期比68億9千万円の減少、減少率は1.55%でした。

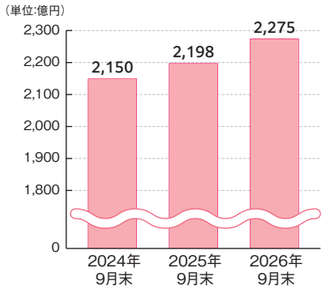
科目別では要求性預金が減少し、定期性預金が増加しました。

貸出金残高は、2,275億1千7百万円となり、前年同期比77億1千5百万円の増加、増加率は3.50%でした。科目別では証書貸付、当座貸越が増加し、割引手形、手形貸付が減少しました。

預金・積金残高の推移



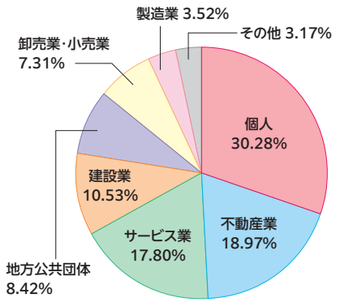
貸出金残高の推移



貸出金の業種別内訳

貸出金の業種別内訳では、不動産業18.97%、サービス業17.80%、建設業10.53%といった業種が上位となっております。

なお、一般事業者以外では、個人（住宅・消費・納税資金等）30.28%、地方公共団体8.42%となっております。



（注）比率は小数点第3位以下を切り捨てています。

損益の状況

投資信託解約損益を除いたコア業務純益は、8億2千8百万円となり、前年同期比2億2千9百万円増加しました。

経常利益は、4億7千4百万円となり、前年同期比5千3百万円増加しました。

以上の結果、当期純利益は、3億1千4百万円となり、前年同期比7千3百万円減少しました。

（単位：千円）

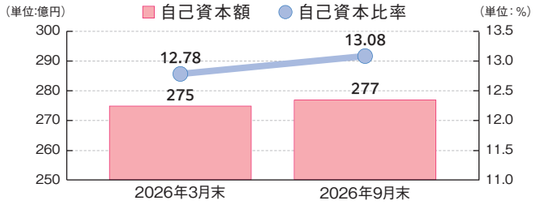
	2024年9月末	2025年9月末	2026年9月末
業務純益	472,171	191,308	75,779
実質業務純益	544,614	289,009	39,465
コア業務純益	555,276	693,109	1,116,278
コア業務純益（投資信託解約損益を除く）	525,663	599,955	828,976
経常利益	496,010	420,953	474,375
当期純利益	439,204	388,099	314,692

自己資本の状況

自己資本額と自己資本比率について

自己資本額は、277億7千万円となり、前期末比2億3千5百万円の増加となりました。また、リスク・アセット等の合計額は、2,122億3千8百万円となり、前期末比31億3千1百万円の減少となりました。

以上の結果、自己資本比率は、13.08%となり、前期末比0.30ポイント上昇しました。当金庫の自己資本比率は、国内基準（4%）の3倍以上であり、皆さまに安心してお取引いただける経営内容となっております。



自己資本の構成

（単位:百万円）

	2026年3月末	2026年9月末
①コア資本に係る基礎項目の額	27,897	28,191
②コア資本に係る調整項目の額	361	420
③自己資本の額（①－②）	27,535	27,770
④リスク・アセット等の額の合計額	215,370	212,238
自己資本比率 ③／④	12.78%	13.08%

有価証券の時価情報

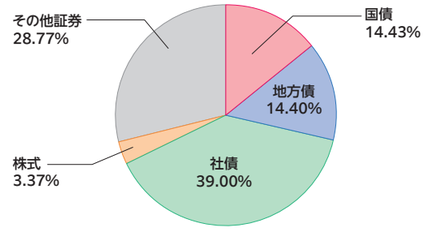
有価証券の残高の状況

（単位:百万円）

種類	貸借対照表計上額	比率(%)
国　債	18,532	14.43
地方債	18,494	14.40
社　債	50,056	39.00
株　式	4,327	3.37
その他証券	36,934	28.77
合　計	128,343	100.00

（注）
1.それぞれの金額を円単位で集計し、百万円単位で表示したため、合計は一致しません。
2.比率は小数点第3位以下を切り捨てています。

有価証券残高の構成



有価証券の評価損益の状況

（単位:百万円）

	2026年3月末			2026年9月末		
	取得原価	時価	評価差額	取得原価	時価	評価差額
その他有価証券	143,706	127,913	△ 15,793	139,358	121,267	△ 18,090
（債券）	(108,717)	(93,591)	(△ 15,126)	(103,185)	(86,116)	(△ 17,068)
（株式）	(3,003)	(3,828)	(825)	(3,376)	(4,317)	(940)
（その他）	(31,985)	(30,492)	(△ 1,492)	(32,796)	(30,834)	(△ 1,962)
満期保有目的の債券	5,652	5,465	△ 187	7,065	6,735	△ 330
売買目的有価証券	－	－	－	－	－	－
子会社株式	10	10	－	10	10	－
合計	149,369	133,388	△ 15,980	146,434	128,013	△ 18,420

（注）1.時価は、基準日における市場価格等に基づいております。2.上記の「その他」とは外国証券、投資信託、投資事業組合出資等です。

不良債権への対応について

当金庫は、財務内容の健全化を図るため、資産査定と担保評価を厳格に行い、将来の貸倒リスクに備えた引当を行っています。
不良債権については、担保・保証等や貸倒引当金によって保全を図っており、その84.72%をカバーしています。
また、自己資本額は277億7千万円であり、リスクに対して十分な備えを行っています。

信用金庫法開示債権および金融再生法開示債権の保全・引当状況

（単位:百万円）

区分		開示残高（A）	保全額（B）	担保・保証等による回収見込額（C）	貸倒引当金（D）	保全率（B）/（A）	引当率（D）/（A−C）
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2026年3月末	1,459	1,459	485	974	100.00%	100.00%
	2026年9月末	1,469	1,469	454	1,014	100.00%	100.00%
危険債権	2026年3月末	10,613	9,467	5,627	3,840	89.20%	77.02%
	2026年9月末	11,395	10,097	6,008	4,088	88.61%	75.90%
要管理債権	2026年3月末	2,060	1,055	746	309	51.24%	23.52%
	2026年9月末	1,992	1,021	722	298	51.25%	23.53%
三月以上延滞債権	2026年3月末	51	30	22	7	59.53%	
	2026年9月末	12	14	12	1	114.99%	
貸出条件緩和債権	2026年3月末	2,009	1,025	723	301	51.02%	
	2026年9月末	1,980	1,006	709	297	50.84%	
小計	2026年3月末	14,133	11,982	6,859	5,123	84.78%	70.43%
	2026年9月末	14,857	12,588	7,185	5,402	84.72%	70.42%
正常債権	2026年3月末	214,690					
	2026年9月末	217,571					
総与信残高	2026年3月末	228,823					
	2026年9月末	232,428					

（注）
1.それぞれの金額を円単位で集計し、百万円単位で表示したため、合計は一致しません。
2.比率は小数点第3位以下を切り捨てています。